

オンライン学習会 選書や展示企画、ブックトークに役立つ



YA・児童文学作品の『問題作の問題点』へのアプローチ

時 2023年9月9日(土) 13:00~15:00

参加費 無料

ライブ定員 70名 (後日録画配信あり)

主催 教大協学校図書館部門+学校図書館問題研究会東京支部

*申し込みはこちらからどうぞ。 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/8c9dcbc4794288>

ルッキズム、韓国YA、ヤングケアラー、ダイバーシティ、グローバリズム、発達障がい、現代の戦争、学校のコンプライアンス、モラハラ・DV、LGBTQなど、現代の児童文学やYAが題材にしている旬のテーマや問題について、認識をアップデートしながら、その描かれ方を百冊以上の作品を例証し、紐解きながら、これをどう読むか、子どもたちにどう読んでもらうか、を考えていきます。

ゲストにこうしたテーマでの問題作を多く書かれている児童文学作家、工藤純子さんを迎えて、作者の視点をうかがいながら、登場人物である子どもたちの視点や読者である私たちの視点をクロスオーバーさせ、そのテーマや問題点をどう読むことができるかアプローチします。学校図書館での選書や展示企画、ブックトークなど子どもたちへの紹介の方法についてヒントになれば嬉しいです。(きむらともお)

登壇者(進行) きむらともお氏

社員。公認内部監査人(CIA)。オンライン書店、出版社など本関係の業務に従事。児童文学紹介サイト「[ハコブネ×ブックス](#)」を主宰。サイトには900冊以上の長編レビューを掲載。フリーペーパーも刊行し、様々な切り口でYA、児童文学作品の紹介を行う。日本児童文学者協会、第8回児童文学評論新人賞佳作、同協会第10回、11回長編児童文学新人賞佳作受賞。

ゲスト 工藤純子氏

50冊以上の著作を持つ、現在、活躍中の児童文学作家。ジュニア向けのエンタテインメントから、リアリズム児童文学まで近年、その活動の幅を広げ、話題作を次々に刊行する。特に、高学年向け児童文学作品やYAでは、触れにくいテーマに切り込む問題作を頻発し読者を啓発している。『セカイの空がみえるまち』(講談社)で第3回児童ペン賞少年小説賞を受賞。おもな作品に『となりの火星人』『あした、また学校で』『サイコーの通知表』(以上、講談社)『てのひらに未来』『はじめましてのダンネバード』(以上、くもん出版)『恋する和パティシエール』『プティ・パティシエール』シリーズ(以上、ポプラ社)『リトル☆バレリーナ』シリーズ(Gakken)、『ミラクル☆キッチン』シリーズ(そうえん社)他、多数。日本児童文学者協会会員。全国児童文学同人誌連絡会「季節風」同人。

